

がんばるねばる

名寄東中学校学校だより

令和3年10月29日発行

「想像力を働かせる」 ～多様性を認め合える社会へ～

名寄市立名寄東中学校長 櫻庭一也

緊急事態宣言が終了し、ようやく多くの教育活動が再開しました。北海道での感染者数も減少していますが、感染を拡大させないための取組を行いながら教育活動を行ってまいります。これからも保護者および地域の皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

さて話は変わりますが、2000年以上昔から、人が一緒に生活する上で大切な原則が言い伝えられています。「己が欲せざるところは、人にすることなかれ（論語）」「何事でも人々からしてほしいと望むことは、人々にもそのとおりにせよ（聖書）」などです。観点は逆ですが、とても大切な原則です。

ところが、これらは「自分がされていやでなければ人にしてもいい」とか、「自分がしてほしいことだったら、なんでも人にしてほしい」とか、間違っって解釈されてしまうことがあります。

私の妻は、小さいときからくだものが大嫌いです。妻の母が妊娠中にくだものを食べると吐いてしまったといいます。妻は、生まれる前からくだものが嫌いだったと力説します。

しかし、私はくだものが大好きです。あんなおいしいものどうして食べないの、と思います。くだものが嫌いな人がいるなんて、信じられない、と思います。だから、ちょっと食べてごらんよ、おいしいよ、などといってすすめます。しかし、それは、何度も繰り返されてきた妻にとって、とても嫌なことだといいます。

一方、私はラベンダーの匂いが苦手です。妻はラベンダーの匂いが好きです。あんなにいい匂いなのにどうして、とききます。だから、ラベンダーの芳香剤を玄関やトイレに置こうします。鼻をつまみたくなります。嫌なのでやめてくれ、と思ってしまいます。

感じ方は人によって様々です。多様性が重視される中、人がどう感じているか、それを理解しようと努力し続けることが求められているのだと思います。「自分の嫌いなものを無理に勧められたらいやな気持ちがするなあ、だから、そのようなことは人にしないようにしましょう」というように、自分に置き換えるとどういうことなのか、想像力を働かせて行動することができれば、世界中の紛争は激減するのでは、と思います。

教職員も、生徒や保護者、地域の皆様の思いを受け止めようと努めていますが、もし、十分に理解してもらえないと感じることがありましたら、遠慮なく学校までご連絡ください。



名寄中との合同チーム

11月行事予定

3年生三者面談です。各ご家庭で、進路選択についてよく相談をしてきてください。

日	曜	学校行事・生徒会行事	日	曜	学校行事・生徒会行事
1	月		15	月	3年三者面談② 1,2年進路相談②
2	火	カーリング授業(2-1, 2-2)	16	火	3年三者面談③ 1,2年進路相談③
3	水	文化の日	17	水	3年三者面談④ 1,2年進路相談④ 1,2年テスト前学習
4	木		18	木	3年三者面談⑤ 1,2年テスト前学習
5	金	常任委員会⑨ 内科健診①(1-1, 1-3, 2-1, 2-2)	19	金	3年三者面談⑥ 1,2年テスト前学習 内科健診②(1-2, 3-1, 3-2)
6	土	パラリンピックトライアスロンに出場した円尾敦子さんの講演です。円尾さんは名寄東中出身です、	20	土	
7	日		21	日	
8	月	オリ・パラ講話	22	月	職員会議⑩ テスト前部活動休止
9	火		23	火	勤労感謝の日 テスト前部活動休止
10	水	全学年学力テスト(3年総合C)	24	水	学年会議 テスト前部活動休止
11	木	名寄市教育研究大会	25	木	1,2年2学期末テスト
12	金	3年三者面談① 1,2年進路相談① カーリング授業(3-2)	26	金	
13	土		27	土	1・2年生の期末テストです。
14	日		28	日	
		【諸費納入日】 前日までに口座への入金をお願いいたします。	29	月	諸費納入日
			30	火	

◆◆ 東中生の活躍 ◆◆

【野球部】

I B A - boys U-14 北海道大会 準優勝

【女子バレーボール部】

モルテン杯中学新人バレーボール大会 準優勝

【バドミントン部】

中学新人大会 上川北部地区代表校決定戦

男子団体 優勝

女子団体 優勝

【バスケットボール部】

新人戦北大会名寄地区予選 男子 優勝

女子 第3位

10/6～7 宿泊研修（2学年）

スローガン「破顔一笑」

今年度の宿泊研修は、ネパール砂川に宿泊し、「カヌー・ボート体験」、「ウオークラリー」、「キャンプファイヤー」などに取り組みました。天候に恵まれ予定通りのプログラムを実施することができました。

生徒たちは、積極的にコミュニケーションをとり、協力して活動を進め、学年の絆をさらに深めていました。特に、実行委員の生徒が、主体的に企画・準備や当日の進行に取り組む姿が立派でした



【前期学校評価について】

前期学校評価を「生徒」「保護者」対象に実施しました。結果の一部を下記の通りお知らせいたします。

○達成率が高い項目



【前期の平均値及び考察】

	保護者	生徒	教職員
前期	3.36	3.82	3.14
後期			

おおむね高い数値が見られます。教職員がやや低いのは、道徳の授業の難しさを表していると思われます。道徳は、担任だけでなく副担任も授業を担当しています。道徳の時間を通して学んだことを、実際の生活の中で生かしていくことができるように取り組んでいきます。

【前期の平均値及び考察】

	保護者	生徒	教職員
前期	3.35	3.71	3.29
後期			

集団生活において、最も学んでほしいものです。おおむね高い数値が見られ、日常生活や行事を通してコツコツ積み上げてきた人間関係が良好な状態をあらわしていると思います。今後も生活のベースとなる、各学級において、互いに認め合う集団作りを仕掛けていきます。

△達成率が低い項目



【前期の平均値及び考察】

	保護者	生徒	教職員
前期	2.55	2.95	2.81
後期			

保護者・生徒・教職員ともに数値が低く、携帯電話などを日常的に使い過ぎの状況がうかがえます。夜更かしなどがあつた場合、体調不良はもちろん、意欲や集中力の低下などにつながります。学校ではネットの利用は22時までとしておりますので、ご家庭でも約束事を守れるよう、ご指導をお願いいたします。

思いやりや協力など、学校生活を送る上で身につけてほしい力が身につけている様子が見られます。課題となるのは、インターネットやテレビに触れている時間が多く、家庭学習時間が不足している点です。生徒自身も課題と感じていますが、昨年と比較においても改善傾向は見られません。もはや日常生活の中では、インターネットは切り離すことができません。「上手な付き合い方」を身につけなければならないと考えております。